

世界の民話のおもしろさをしょうかいしよう
めあて

世界の民話をみんなにしょうかいしよう

しょうかいの仕方

- ・ ぼくは、「本の題名」国「をしょうかいます。
- ・ しょうかいカードをもとにしょうかひをする。
- ・ 本を上手に見せながらしょうかひする。
- ・ スピーチの仕方を思い出しながら（声の大きさ、しせい）
- ・ メッセージカードに感想を書いてください。
- ・ 感想を言ってください。（一人ずつ言ってもらう）
- ・ ありがとうございました。次は さんお願いします。

へらないなたば（朝せん半島）

感想

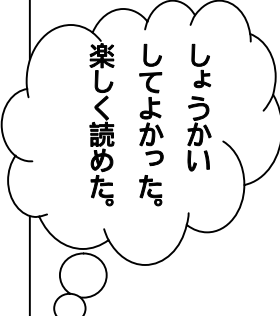
- ・ 二人の兄弟がそれからどうなったのか知りたい。
- ・ いねがへらないのがふしぎ、読んでみたい。
- ・ 仲のよい兄弟がなぜけんかをしたのかわけを知りたい。
- ・ おもしろそうなので、読んでみたい。

友達のメッセージを読んで

- ・ 友達が読んでみたいと言ってくれたのでうれしかった。
- ・ しょうかいの仕方が上手だと言われてうれしかった。
- ・ あらすじがよくわかったと言ってくれた。
- ・ 同じ本を読んだけど、おもしろかったところがちがっていた。

友達がえらんだ世界の民話

- ・ さんねん峠（朝せん半島）
- ・ やぎとぎんのすず（ルーマニア）
- ・ ジャックと豆のつる（イギリス）
- ・ スーホーの白い馬（モンゴル）



教師があらすじとおもしろかったところを紹介する。

こんな言葉を使ってみよう

【8 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート…紹介カード（自分が書いたもの）
メッセージカード
活動のねらい

完成した世界の民話紹介カードをグループで紹介し合い、友達が選んだ民話に興味をもつことができるようにする。

1 紹介の仕方を確認する。

前時に提示していた「紹介の仕方」に沿って、教師が「へらない稲束」を紹介する。（紹介する民話は、児童が読んでいないものがよいでしょう。）
感想は板書し、グループでの交流の参考にする。

2 選んだ民話の紹介をする。

グループごとに紹介を行う。
うまく感想が書けない児童に対しては、教師が聞き取りをしながら書かせる。
紹介が早く終わったグループは、紹介された本を互いに読ませる。
グループの代表者が学級全体の場で紹介を行う。
多くの民話のおもしろさに触れさせる。

【評価】世界の民話のあらすじやおもしろさに着目し、紹介された民話に興味をもつことができる。

3 友達からのメッセージを読み、紹介し合った感想を発表する。

友達が紹介をしっかりと聞いてくれたことを押さえ、交流することの良さを味わわせる。
学級全体の場で数名に紹介をさせ、多くの世界の民話に興味をもつことができるようにする。

4 本時を振り返り、次時について知る。

紹介したことや友達の紹介を聞いて思ったことを振り返る。
* 友達から紹介されて興味をもった本をこれから読んでいくように促す。
次時は、単元のまとめをすることを知らせる。